

表2 甲状腺癌診断/治療/術後経過観察の流れ

甲状腺結節の発見

- 1) 検診などによる偶然の発見(無症状患者)
- 2) 自覚的に甲状腺結節、リンパ節腫大などに患者が気づく(症状のある患者)
- 3) リンパ節、骨、肺などに転移が発見され、原発巣の検索から甲状腺結節発見

甲状腺結節のリスク分類

- 1) 超音波画像によるリスク分類、細胞診適応の有無の決定
- 2) 穿刺細胞診による、良性/悪性の判定
- 3) 細胞診で良性/悪性のいずれにも決定できない(鑑別困難)場合のリスク分類

術前診断

- 1) 患者への癌告知/カウンセリング
- 2) 画像診断/細胞診断を総合して、術前臨床病期判定
- 3) 低リスク微小乳頭癌では、手術/非手術的経過観察の決定
- 4) 術式の決定
- 5) 他(第三者)の医師によるセコンドオピニオン

術後のリスク判定

- 1) 病理組織学的リスク分類
- 2) AJCC/UICC 病期分類
- 3) 日本甲状腺外科学会などから推奨されているリスク分類
- 4) 追加治療(補完全摘/放射性ヨウ素内照射)の必要性の判定

術後の患者への説明

- 1) 患者への病理診結果、再発リスク、治療の根治性の説明
 - 2) 患者への術後の経過観察計画/予定の説明
- 定期的な術後の経過観察、甲状腺機能検査とホルモン補充療法
再発/転移例の診断/治療計画策定